

カイゼン報告用紙

課等名 健康づくり課

受理番号 25-K009

標 題 QRコードの活用等によりがん検診申込数が3倍増

1 これまでのやり方(問題点)……何がどのように問題であったか具体的に

○申込書入手の手間

若い世代へのがん検診の受診勧奨として、申込み勧奨はがきを郵送している(H24年度送付数 40歳女性 1,269通)。しかし、申込みには別に申込書の入手が必要であり、手間がかかるため、申込みにつながりにくかった。

○電子申請でID取得が必要

従来から電子申請は可能であるが、利用者ID取得が必要な設定であるため、市民からID取得方法の煩雑さなどの問い合わせや苦情が多く、対応に苦慮していた。

2 取組経過……改善実施までの取組内容、苦労した点、費やした時間等について具体的に

○市民からの意見を受け、用紙やインターネット以外にも気軽に検診の申し込みができる手法等、より利用しやすい方法等を課内で協議。検診の申込みだけであるため利用者IDを求めずとも支障がないとの認識となり、利用者ID取得を不要とした。(ID取得不要の代替策等は特段講じていない。)

○ISOの「部門別環境目的及び目標設定表」の当課目標に電子申請によるがん検診申し込み数を設定し、職員の意識の向上に努めた。

3 改善後のやり方……改善後の方法について具体的に

○QRコードの活用

検診申し込みの手間を省くため、用紙やインターネットからの申請方法に加え、申し込み勧奨はがきや広報等の啓発物品にQRコードを印刷し、スマートフォンから電子申請ができるよう申込み方法を簡略化した。また、申し込み数の向上に合わせて、電子申請期間を拡大した。(H24年度 H25.1.15～H25.4.15 ⇒H25年度 H25.8.1～H26.4.15)

○利用者ID取得の廃止

電子申請時に利用者IDの取得を不要とした。

○地球温暖化防止

紙使用を減らすことにより地球温暖化防止にもつなげることができた。

4 改善の効果……効果について数量等を具体的に

効果額
(算定根拠) 新たな経費負担なし。

時間の節減
(算定根拠) 市民からの問い合わせや苦情が大幅減となった。

その他の効果

- 電子申請による申込み数が前年度より310%増加した。
- 申込み勧奨はがき郵送者からの新規登録が43%増加した。

(電子申請 申込数)	(40歳女性の新規登録者数)
H23年度 171件	H23年度 160件
H24年度 530件	H24年度 228件
差 359件(+310%)	差 68件(+43%)